

JP2002133141

Publication Title:

SECONDARY USING SYSTEM FOR ADVERTISEMENT DATA

Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the advertisement expenses as a result while enhancing the effect of the advertisement itself.

SOLUTION: The secondary use of the advertisement is accomplished by a means for cutting out photographs, pictures or graphic forms used in the advertisement as a single electronic image file and recording the same in the processed or unprocessed state in an image data base on a server, a means for opening the image data base to the public on the network and delivering the electronic image file to many and unspecified terminal devices accessed thereto for pay, and a means for automatically performing delivery and accounting as an agency for an owner of advertisement.

Data supplied from the esp@cenet database - <http://ep.espacenet.com>

(11)特許出願公開番号

特開2002-133141

(P2002-133141A)

(43)公開日 平成14年5月10日(2002.5.10)

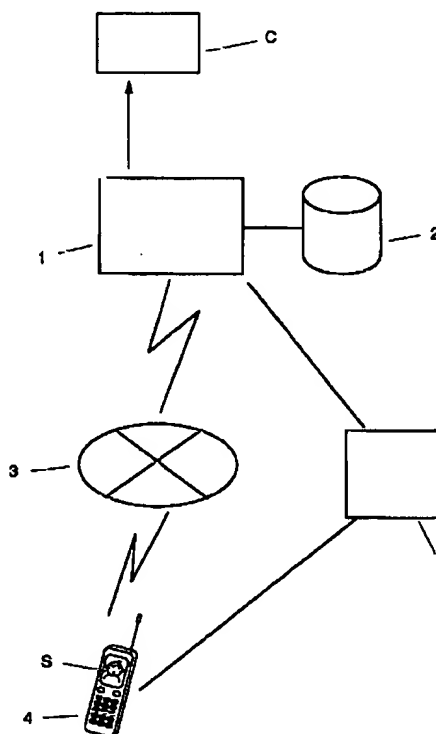
(51)Int.Cl. ⁷ G 0 6 F 17/60	識別記号 3 0 2 Z E C 3 1 4 3 3 2 5 0 6	F I C 0 6 F 17/60	データベース [*] (参考) 3 0 2 E 5 B 0 4 9 Z E C 3 1 4 3 3 2 5 0 6
		審査請求 未請求 請求項の数 6	〇 L (全 4 頁) 最終頁に続く
(21)出願番号	特願2000-325161(P2000-325161)	(71)出願人	500138858 株式会社松栄堂 東京都新宿区天神町77番地
(22)出願日	平成12年10月25日(2000. 10. 25)	(71)出願人	500496183 株式会社キャラクター・データバンク 東京都新宿区天神町77番地
		(71)出願人	500496194 株式会社アブソリュート 東京都渋谷区恵比寿西2-4-5
		(72)発明者	伊藤 弘一郎 東京都世田谷区桜上水1-11-8
		(74)代理人	100081949 弁理士 神保 欣正
		Fターム(参考)	5B049 AA02 AA06 CC05 FF01 GG00

(54)【発明の名称】 広告データの二次利用システム

(57) 【要約】

【課題】 広告自体の効果をより増大させながら、広告費用を結果的に減少させる。

【解決手段】広告に使用した写真又は絵又は図形を単独の電子画像ファイルとして切り出して加工又は未加工の状態ですerver上の画像データベースに収録する手段と、この画像データベースをネットワーク上で公開して、ここにアクセスした不特定多数の端末装置に有料で電子画像ファイルを配信する手段と、この配信及び課金を広告主に代行して自動的に行う手段により広告の二次利用を図る。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 非電子媒体又は電子媒体に掲載した広告に使用した写真又は絵又は図形を単独の電子画像ファイルとして切り出して加工又は未加工の状態でサーバー上の画像データベースに収録する手段と、この画像データベースをネットワーク上で公開して、ここにアクセスした不特定多数の端末装置に有料で電子画像ファイルを配信する手段と、この配信及び課金を広告主に代行して自動的に行う手段を有することを特徴とする広告データの二次利用システム。

【請求項2】 電子画像ファイルの配信にあたり配信先の利用者の属性を採取して、これを広告主に提供する手段を有する請求項1記載の広告データの二次利用システム。

【請求項3】 端末装置に配信した電子画像ファイルは端末装置において一定時間のみ開かれ、時間経過後は消去される請求項1又は2記載の広告データの二次利用システム。

【請求項4】 端末装置に配信した電子画像ファイルは端末装置にダウンロードされる請求項1又は2記載の広告データの二次利用システム。

【請求項5】 端末装置はモバイル端末である請求項1から4の何れかに記載の広告データの二次利用システム。

【請求項6】 モバイル端末はネットワーク接続機能を有する携帯電話であり、この携帯電話の通信事業者が携帯電話使用者から電子画像の使用料を代行して回収できるよう、画像データベースを有するサーバーの管理者から電子画像の配信を行った携帯電話使用者のデータを通信事業者へ通知する手段を有する請求項5記載の広告データの二次利用システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、雑誌や新聞などの紙媒体やテレビやインターネット等の電子媒体上で行われた広告のデータを二次利用することによりその有効活用を図るシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の広告の二次利用は例えば新聞に掲載した広告の版下を使用して雑誌で同じ広告を行うとか、テレビで放映した広告の映像を加工してインターネットでも使用する等のように、同一の広告を単に異なる媒体で重複して使用するに過ぎなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従って、上記の従来技術においては広告量及び対象層が拡大して広告がより多くの需要者の目に触れる機会が増大する機会が得られるものの、広告の内容自体には変化が無いので同一の需要者に対してはリピート効果しか得られなかった。

【0004】一方、広告費用は広告毎に発生するので、

広告主にとって版下や映像の初期費用が控除されるものの、それ以外の経済的なメリットを見出せなかった。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明は以上の従来技術の問題点に鑑みて創作されたものであり、広告主がより大きな経済的メリットを享受することを可能とすると共に、広告自体の効果もより増大することを可能とする全く新たな発想に基づく広告データの二次利用システムを提供することを目的とする。

【0006】即ち、この発明の広告データの二次利用システムは非電子媒体又は電子媒体に掲載した広告に使用した写真又は絵又は図形を単独の電子画像ファイルとして切り出して加工又は未加工の状態でサーバー上の画像データベースに収録する手段と、この画像データベースをネットワーク上で公開して、ここにアクセスした不特定多数の端末装置に有料で電子画像ファイルを配信する手段と、この配信及び課金を広告主に代行して自動的に行う手段を有することを特徴とする。

【0007】通常、広告はその訴求力を高めるために工夫を凝らし、しかも高品質な写真、絵、図形を使用している。例えば、写真には魅力的な被写体と共に一流の写真家を起用し、絵にはやはり一流の画家やイラストレーターを起用し、図形には求心力に富んだキャラクターを使用している。そして、これらは広告を離れてみた場合でも需要者には魅力的な作品であり、その手にしてみたいという潜在的な需要がある。

【0008】この発明は以上の状況を睨んで創作されたものであり、広告に使用した写真、絵、図形等をいわば切り売りすることを内容とするが、単なる切り売りではなく、それを電子画像ファイルしてネットワーク上のデータベースとして公開することにより需要者の能動的な購買を誘因し、更に配信にあたり対価を徴収し、それを広告主に還元することにより広告費用の軽減を実現することをその要旨としている。

【0009】

【発明の実施の形態】この発明の出願当時の社会的状況においては、配信を受ける端末装置としてもっとも効果的なものとしてネットワーク接続機能を有する携帯電話を想定している。この種の携帯電話は液晶等を利用したカラー画面を備えており、特に若年の需要者層において広告で使用されているお気に入りのキャラクターを自分の携帯電話の画面に表示させて楽しむことが予想される。又、携帯電話の場合は、その使用にあたっては通信環境を提供する電話会社等の通信事業者が介在するので、画像の使用料の徴収の代行をこの通信事業者が行うことによりこの発明のシステムのよりスムーズな稼働が期待できる。

【0010】一方、端末装置は携帯電話に限らず、PDA (personal digital assistants) やネットワーク接続機能を備えたカーナビゲーション装置等のその他のモ

パイル端末でもよく、又、パーソナルコンピュータやネットワーク接続機能を備えたテレビジョン受像機でもよいことは勿論である。パーソナルコンピュータの場合は画像をスクリーンセーバーやスクリーン上の壁紙に使用することが予想でき、又、テレビジョン受像機の場合には壁掛け可能な薄型のディスプレイが普及したおりには、広告で使用された美麗な写真や絵を部屋を飾る環境映像として利用することが予想される。

【0011】以下、この発明の具体的実施例を添付図面に基づいて説明する。ここでは、画像の配信が行われるネットワークとしてこの出願の時点でもっとも一般的な手段であるインターネットを想定し、端末装置としてはネットワーク接続機能を有すると共に画像を表示可能なディスプレイを有する携帯電話を想定している。尚、これらは一例であり、この発明においてはその他のネットワークや端末装置も対象に含まれることは勿論である。

【0012】図1はこの実施例の全体の構成を示す図である。図中符号1はウェブサーバー（以下、サーバーと称する。）であり、インターネット3上に公開されるウェブページを介して需要者の携帯電話機4が接続され、ウェブページ上で画像の選択、取得のための手順が実行される。図中符号Sはこの携帯電話機4のディスプレイである。このサーバー1はこのシステム全体の管理者により管理されるものであり、この管理者は通常は広告主Cから広告を請け負う広告事業者である。このサーバー1には電子画像ファイルを収録した画像データベース2が接続される他、画像を配信した需要者の属性や課金情報等を収録したデータベースや画像の提供者（広告主）のデータを収録したデータベースも接続される。

【0013】上記のサーバー1の画像データベース2には各種の媒体上で実施された広告から切り出された写真、絵、図形等の画像が、携帯電話機4において読み出し可能な形式の電子画像ファイルとして収録される。図2及び3の説明図にその概念を示す。

【0014】図2は広告が電子媒体上で行われた場合の一例を示すものであり、ここでは電子媒体A1としてインターネット上で公開されるウェブページを例にとっている。この場合には広告自体が電子データから構成されており、写真、絵、図形等は独立したファイルとして構成されていることが多いので、これらを取り出してそのままの形式か或いは携帯電話機4で表示するのに適した形式に加工した画像Pとして画像データベースに収録する。又、同じく電子媒体であっても、テレビジョンの場合は放映されるデータはアナログデータであるので、ここから写真、絵、図形等を切り出してデジタルデータに変換する作業が必要となる。

【0015】図3は広告が非電子媒体上で行われた場合の一例を示すものであり、ここでは非電子媒体A2として広告を掲載した雑誌を例にとっている。この場合には旧来の版下を使用している場合はそこからスキャナーで

写真、絵、図形等を読み込むか、或いは写真、絵、図形等の元原稿をスキャナーで読み込み、又、DTP (desktop publishing) によっている場合は前記の電子媒体の場合と同様の手順で画像を取り出す。

【0016】需要者はウェブページ上から以上の画像データベース2にアクセスして所望の画像を選択するわけだが、この場合、画像の検索方法としては画像自体をサムネイル (thumbnail) 形式で表示する他、各種のキーワードを付することが想定できる。キーワードとしては画像の外見的特徴を文字で表現したもの他に、その画像が使用された広告の広告主の名称（スポンサー名）や広告の対象となった商品名（商標）が想定できる。特に後者のキーワードに関しては、需要者はスポンサー名や商標で広告を記憶しているので検索効率が良く、このような検索作業を行うことによりスポンサー名や商標が知らず知らずに需要者の脳裏に刻み込まれる効果も得られる。又、広告がインターネットや双方向通信機能を備えたテレビ等で表示される場合は、広告画面からこのシステムの画像データベースにリアルタイムでリンクする手段を設けてもよく、この場合には画像を収集する目的のために需要者が広告を視聴する効果も期待でき、広告の視聴率が高まる。一方、広告が雑誌や新聞等の非電子媒体に表示される場合には、そこにこのシステムの画像データベースのURLを付記してもよい。

【0017】上記の画像データベース中に所望の画像を発見した需要者は、所定の申し込み手順を介して有料で画像の配信を受けることができる。この場合、携帯電話に配信した電子画像ファイルは携帯電話において一定時間のみ開かれ、時間経過後は消去される配信方法と、携帯電話において画像ファイルをダウンロードして保存可能とする配信方法の2種をこの実施例では設けている。前者の場合は不正な画像の二次利用を防止することが可能となるので、広告主の意向により前者の方法にのみ制限してもよい。

【0018】上記の場合において画像の配信費用の徴収に関して、この実施例においてはサーバーの管理者側において画像の配信先の記録を配信した画像の単価と共にデータベースに収録し、これを携帯電話の通信環境を提供する通信事業者（電話会社）Tに転送し、通信事業者が通信料と共に画像配信費用の徴収を代行するシステムとしている。そして、徴収した使用料は通信事業者及びこのシステムの管理者がそれぞれ所定の手数料を控除した後、画像の使用権を保有する広告主Cに支払われる。

【0019】尚、以上の実施例において、需要者への画像の配信時に画面上のアンケート等から採取した購入者の属性を配信した画像と対応してデータベースに収録し、これを広告主に提供してもよい。こうすることにより、ある広告に対する注目度を性別、年齢別、地域別等の需要者の属性と対応して把握することができ、その結果を販売戦略や商品戦略、それに広告戦略に生かすこと

ができる。

【0020】

【発明の効果】以上の構成よりなるこの発明は次の特有な効果を奏する。

①従来のように単に媒体を変えただけの広告の二次利用でなく、広告から抜き出した写真、絵、図形を需要者に配信するといった形での二次利用なので、写真、絵、図形が魅力的な場合は、これらが一人歩きすることにより露出・普及する機会が増大し、それに伴い本体の広告の効果も増大する相乗効果が得られる。

②配信は有料で行われるので、広告主はそこから利益を得ることができ、広告費用の一部を回収することが可能となる。そして、その差益を広告をよりグレードアップする費用に投じることにより、より魅力的な写真、絵、図形を有する広告が実現し、更なる画像の配信需要が増

大し更に利益を挙げることができるという循環作用が期待できる。

③画像の配信によりその画像に好感度を持つ需要者の層を探ることができるので広告効果の増大や経済的効果以外の市場調査効果も実現される。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の広告データの二次利用システムの全体のブロック図。

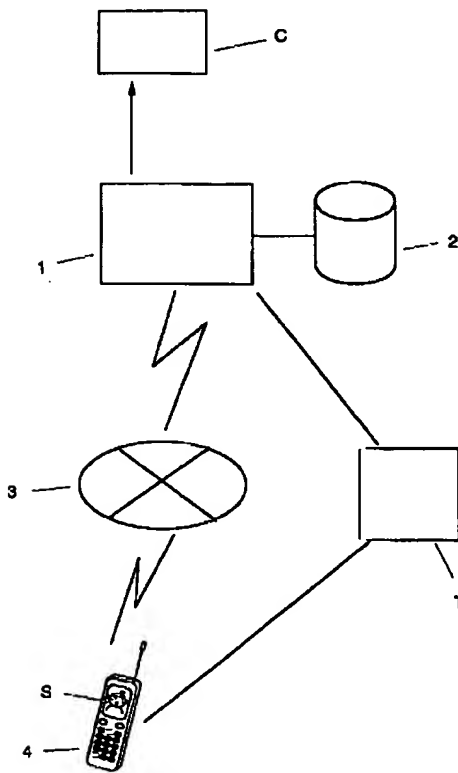
【図2】 同上、説明図。

【図3】 同上、説明図。

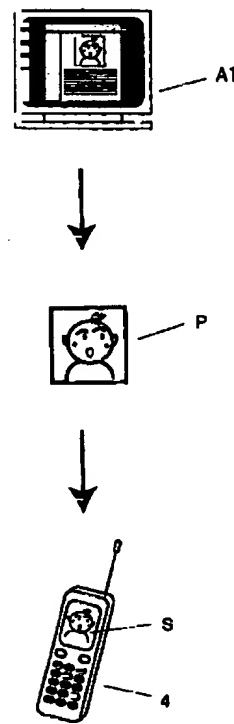
【符号の説明】

- 1 サーバー
- 2 画像データベース
- 3 ネットワーク
- 4 携帯電話（端末装置）

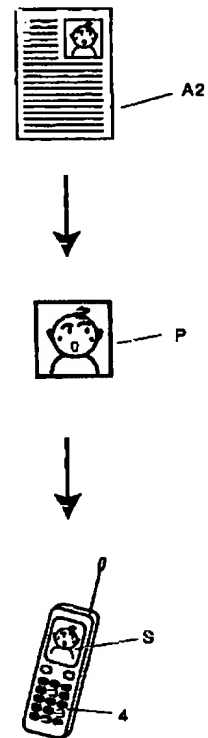
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
G06F 13/00

識別記号
540

F I
G06F 13/00

(参考)
540P